

IT コーディネータ制度と中国地域の活動

平成 14 年 7 月 2 日
特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会
広報担当 河野 亘

平成 13 年に発足した IT コーディネータ制度は 1 年を経過しました。IT コーディネータもほぼ計画どおりに全国で約 1,900 人(ITC 補を含む)が誕生し、コンセプトである「経営と IT の橋渡し」を行う「人材」も揃いはじめました。中国地域では中国経済産業局のご支援の下で全国に先駆けた活発な活動が他地域の先進事例として高く評価されています。その活動状況と「経営と IT の橋渡し」実践が本格的にスタートする平成 14 年度の活動についての計画と課題について報告します。

■ IT コーディネータ制度の経緯・・・「IT 革命の切り札」となる国家的プロジェクト

1998/11 通産省産業構造審議会「情報化人材対策小委員会」審議開始 戦略的情報化投資
による経済再生を担う人材育成について

1999/6 上記小委員会中間報告で IT コーディネータ制度の創設を提案 戦略的情報化投資
活性化のための環境整備の試み

2000/2 ITSSP が IT コーディネータに関する中間報告書を公表
ITSSP：産業構造審議会中間報告を推進するためのプロジェクト

2000/10 ITSSP がガイドラインを公表
「IT コーディネータ報告書」
「IT コーディネータ・プロセスガイドライン(β版)」
「IT コーディネータ・カリキュラム作成ガイドライン(β版)」

2001/2 IT コーディネータ協会を特定非営利活動法人(NPO 法人)として設立 2001/4 IT コー
ディネータ・インストラクタ研修の開始

2005 年度で合計 1 万人の IT コーディネータを輩出する計画です。

2002/4 末現在の IT コーディネータ等の数は次の通りです。

G2: IT コーディネータは約 1620 名、IT コーディネータ補は約 280 名、計約 1900 名

G1: IT コーディネータ・インストラクタは約 400 名(G2 と重複あり)

G0: IT コーディネータ・インストラクタのインストラクタは約 70 人(G2 と重複あり)

中国地域の G1 は 14 名、G2 は IT コーディネータが 52 名、IT コーディネータ補が 7 名
の計 59 名

■ 中国地域の IT コーディネータはどのような活動をしているのか・・・広報と研鑽

平成 13 年度には、中国地域の IT コーディネータは次のような活動をしました。

【IT コーディネータ交流会】

- ・平成 13 年 10 月 2 日 (社)中国地域ニュービジネス協議会主催

出席者：48 名(経済産業省 1 名、中国経済産業局 5 名、ITSSP 事務局 1 名、ITC 協会 3 名、
中国各県商工労働部 5 名、事業団や県のベンチャー支援センターおよび中国各県産業振
興機構等の支援機関 15 名、支援機関専門員 8 名、IT コーディネータ・インストラクタ
8 名)

内容：IT コーディネータ・インストラクタの自己紹介や IT コーディネータ制度の説明、各
支援機関に IT コーディネータ活用を依頼

- ・平成 13 年 12 月 20 日 (社)中国地域ニュービジネス協議会主催

出席者：41 名(中国経済産業局 5 名、ITSSP 事務局 1 名、中国 5 県商工労働部 5 名、事業団
や県のベンチャー支援センターおよび中国各県産業振興機構等の支援機関 9 名、支援機
関専門員 3 名、IT コーディネータ等 14 名、中国 NBC3 名、および、高島利尚講師)

内容：新 IT コーディネータ等の自己紹介、高島利尚講師による「IT 活用支援のポイント」

中国経済産業局による「ITC 支援策および支援施策事例」

- ・平成 14 年 2 月 21 日 (株) 広島ソフトウェアセンター主催
出席者：36 名（中国経済産業局 2 名、中国 5 県商工労働部 5 名、中国各県産業振興機構等の支援機関 6 名、IT コーディネータ等 22 名、および、福山峻一講師）
内容：新 IT コーディネータ等の自己紹介、福山峻一講師による「CMM を応用した組織能力の持続的成熟度向上について」、中国経済産業局による「IT コーディネータ支援施策」

【広報活動】

- ・平成 13 年 10 月 26 日 ひろしま IT&テクノフェアで ITC 協会弓崎事務局による広報（約 50 名）
- ・平成 14 年 1 月 26 日 中小企業診断士協会広島県支部への普家 IT コーディネータ・インストラクタによる IT コーディネータ制度紹介（約 20 名）
- ・平成 14 年 1 月 31 日 岡山 ITC セミナーで経済産業省による IT コーディネータ支援施策、日経 IT21 編集長桔梗原講師による IT 活用事例、河野中国地域広報担当による IT コーディネータ活用法（約 120 名）
- ・平成 14 年 2 月 5 日 中小企業大学校広島校 IT コーディネータ紹介セミナーで経済産業省および中国経済産業局による IT コーディネータ支援施策（約 80 名）

【講師派遣事業・専門家派遣事業】

- ・平成 13 年 10 月の 5 日間、中小企業大学校での経営指導員への IT 経営改善研修
- ・平成 13 年 10 月～12 月の 5 回、福山での ITSSP 参画型事業
- ・平成 13 年 11 月～平成 14 年 3 月の計 60 回、中国 NBC 専門家派遣事業
- ・平成 13 年 11 月～平成 14 年 3 月の計 20 日、広島ソフトウェアセンターの IT 経営改善研修
- ・平成 13 年 9 月と 11 月および平成 14 年 3 月の計 12 日、IT コーディネータ専門知識研修

【勉強会】

- ・平成 13 年 9 月～平成 14 年 1 月、経営改善研修実行委員会による経営改善研修テキスト作成
- ・平成 13 年 11 月～平成 14 年 4 月、専門家派遣事業実行委員会による IT コーディネータ支援プロセス勉強会

■ 中国地域における戦略情報化企画コーディネート事例

前述の平成 13 年 11 月～平成 14 年 3 月の中国 NBC 専門家派遣事業は、中国地域 IT コーディネータ連絡会の公募により、全 14 企業のうち 8 人の IT コーディネータが 10 企業を担当しました。その内、4 企業は経営系 IT コーディネータと情報系 IT コーディネータの 2 名がパートナーを組んでプロジェクトを担当しました。

以上の成果物である戦略情報化企画書により、当企業での報告会と IT コーディネータによる勉強会におけるレビューを実施しました。

平成 14 年度には、他の事例を含めて、経営戦略責任者への報告会を考えています。

■ 中国地域の IT コーディネータは今後何をするのか・・・経営情報化支援と企業内での IT ガバナンス向上寄与

平成 14 年度は、IT コーディネータ制度の経営者への認知と経営情報化支援、および IT コーディネータの成熟度を 1 レベル向上すべく次のような活動を計画します。

経営戦略責任者交流会事業

平成 13 年度に実施したソフトウェアセンター福山 ITSSP 目的型交流会の共同ホームページの運用を実施に移す事業、および中小企業診断協会と連携して小規模企業向け ERP の利用可能性研究やバランススコアカードの活用研究会事業を計画する。

戦略的 IT 投資研究事業

平成 13 年度に実施した NBC 専門家派遣事業の深化と新たな IT コーディネータ支援プロセスを活用した専門家派遣事業を計画する。

IT事例発表会事業

平成13年度は中国経済産業局の支援により、ITコーディネータを各種支援機関に認知してもらうために3回の交流会を実施していただいたが、平成14年度は経営者にITコーディネータ支援プロセスを認知してもらうための事例発表会を、中国地域各県単位実施を計画する。

ITコーディネータ交流会事業

平成14年度は前年度に実施した

- ・ソフトウェアセンター福山 ITSSP 参画型事業
- ・NBC 専門家派遣事業
- ・ソフトウェアセンター経営改善研修事業
- ・ソフトウェアセンター一般向け専門知識研修

等および平成14年度に実施する事業の事例発表とレビュー実施の会を数回開催し、ITコーディネータの質向上に寄与する。

■ 中国地域のITコーディネータの課題・・・組織化とネットワーク拡大

中国経済産業局管轄5県のITコーディネータを組織化し、各事業実施母体となること。

全国的なNPO法人の中国地域団体、企業組合等の組織化を検討中ですが、早急な結論が課題となっています。

全国的なITコーディネータ・ネットワークの仕組みやレベル向上機会の提供が必要。

中国地域のITコーディネータのためのケース研修が広島でも実施されていますが、受講者の地域が中国、四国に偏っており、全国的なネットワーク（人脈）から取り残される傾向にあります。そして、地域的な成熟度にとどまる傾向にあります。

以上